

特集
雜誌

自由國民

現代用語 の基礎知識

1948年版

新しい社会の動きを理解するために

- 政治用語の解説……………監修・中村 哲
法律用語の解説……………・戒能通孝
経済用語の解説(A)……………・中山伊知郎
経済用語の解説(B)……………・木村禧八郎
経済用語の解説(C)……………・向坂逸郎
労働用語の解説……………・大河内一男
思想用語の解説……………・高桑純夫
文藝用語の解説……………・中島健藏
社会用語の解説……………・進藤次郎
科学用語の解説……………・岡 邦雄
医学用語の解説……………・井上兼雄
映畫用語の解説……………・津村秀夫
音楽用語の解説……………・服部良一
スポーツ用語集……………・小野三千磨
進駐軍関係略語……………・鈴木文史朗

創刊号復刻版

★★★時局月報社★発行★★★

編集前記

☆本號の編集方針に就ては、次頁に書いたから茲に觸れない。記者は編集しながら、實際、その時の社會情勢は、その時の常用語の中に集約されることを、今更のように痛感した。かりに本號が戦時中に出たとすれば「八紘一宇」「滅私奉公」式の活字が横行したろう。その代表語は例の「報國」である。

「産業報國」「言論報國」から始まつて何事にもシツポに「報國」をつけねば通用出来なかつた記憶は生々しいが、これら一聯の戦時常用語は原子爆弾の一發で廣島長崎の住民と共に一瞬にして、死語廢語の列に吹きとばされた。

☆「報國」に匹敵する今日の代表語は云うまでもなく「民主化」である。民主化の黨服を着なければ配給も貰えない状態である。この言語魔術のニューフェイス「民主化」をトップに終戦後の新語造語隠語外來語の續出は、激動する社會情勢の姿をそのままに反映して實に凄じい、斯く氾濫する現代用語をどう整理しどう定義づけるかは、今後の重要な課題になつて來よう。

☆アメリカには周知のごとくH・L・メンケンの彪大な「アメリカン・ランゲージ」の定本があつて、次から次え

産出される夥しい新語スラングの類を毎年追加版に集録し解説している。アメリカは傳統の重いきづなを負うことなしに常に新しいフロンティアを求めてやまない國であり、従つて新發明新機械新學說と共にスピーテイな新語が大量に生産され、これを胃の腑のつよいアメリカ文化の中に聊かも拒否することなく吸収して行く。そこにメンケンの辭典の意義があり用語の窓から見た新大陸の若さが現れている。

☆ところが老いたヨーロッパ諸國では事態はむしろ逆である。例えばフランスの「ラルーズ」を見よう。ラルーズは殆んど國定的に近い權威ある辭典であるが、或る一つの用語をこの辭典にのせるか載せないかは、アカデミー・フランセーズの碩學權威が毎月あつまつて「純粹なフランス語」の保存という見地から詳細に検討する。アカデミーの氣むづかしい學者連中の同意を得ることなしには如何なる言葉もラルーズの中に入ることは出来ない。ラルーズに入つていないとフランス語と云われぬ。例えは「O・K」などというアメリカ渡來の俗語はこのアカデミーの關門で拒否された。

☆これがソ聯に行くとき態はまた特殊のようである。この聯邦はすくなくも百五十の民族で成り立つてゐるから「純粹な國語」をまもらるといふ運動は行われ得ない。その代りに、共產主義なら共產主義という或る一つの用語に對する統一した定義づけということに、懸命な努力が拂われている。黨出版局や政治經濟研究所などから、年報・哲學辭典・政治辭典等が續々出版され、各民族語に翻譯されてひろく普及してゐるのは、その一例である。

☆メンケン型、ラルーズ型、ソ聯型とそれぞれ傾向を異にしてゐるが、何れも用語について眞剣な考慮を拂つてゐる點は同じである。それに引きかえ、如何に今日の日本の用語の世界が無政府の荒野に放置されてゐることか。本誌本號のこの試みは、及ばずながら戦後日本の各界の常用語を集録し、その社會常識の水準を示そうとする開墾の試みである。勿論、はじめの試みで頁數も限られ、多くの不備不備があるが、今後、毎年改訂増補してぜひ國民的な實用價値を持つものにならうと思ふ。讀者諸君もどうか、お氣づきの點希望の點を指摘し教示して頂きたい。各方面の協力によつてメンケンの向うを張る「自由國民」版の現代用語年鑑をつくるのがわれわれの目標である。

進駐軍關係の略語に就て

監修・鈴木文史朗

執筆・三井高進

はしがき

鈴木文史朗

一言思いつくまゝに注意して置きたい。バンバンという言葉とハバハバという言葉が、盛んに使われる。バンバンは恐らく何かの間違いからでき上つた日本語である。進駐軍の人員でこの言葉を使う人があつてもそれは一種の日本の流行語として使つていたのでありアメリカにもイギリスにもこの言葉は存在しない。ハバハバは hubba-hubba と書き、アメリカで 1945 年頃から流行し始めた言葉であるが、日本においては全く違つた意味に使われている。アメリカでは一種の感動詞で、女性に對して口笛を吹いたりするのと同様の意味を持つてゐる。日本では「早く早く」という意味に使われているが恐らく「早く早く」という日本語が「ハバハバ」と聞えたことから混同するようになったものと思われる。

この種の地方的流行語はこの外にもいろいろあるかも知れないが、それらは英語の一部として取り扱うだけの價値はないと思う。なおこの筆者の三井高進君はダートマス・カレッジの出身で、この種の解説者として最も信頼出来る人である。

備考

名Ⅱ名詞 動Ⅱ動詞 形Ⅱ形容詞等を簡単に記した場合もある。略語などは大抵名詞である。特に珍しい言葉でなくて使ひ方だけ特別の場合を示したのも幾つかある。

進駐軍關係の用語で主として日本だけにあるもの。一般に新聞などに略語を使うのは字数を減ずる目的の場合が多く、團體の名稱などは殆ど皆という程頭文字だけに略されるが、よく知れ渡つた場合以外は大抵一つの記事の中で一回は完全に綴られてゐるから、この種の言葉はこゝに記さなかつた。(三井)

- ADPO** (Army Post office) 陸軍の海外郵便局。APO は部隊に属するもので、地名でなく番號で呼ばれる。例えば APO 500 はマッカーサー元帥の司令部に属する局で現在は東京にある。但しアメリカ本國を中心として、東西に大別し、東方(ヨーロッパ方面)はニューヨーク、西方(太平洋方面)はサンフランシスコの郵便局長氣附とする。
- ARC** (American Red Cross) アメリカ赤十字社。
- ATIS** (Allied Translators Interpreters Service) (進) 連合國翻譯通譯班。進駐軍關係の翻譯や通譯の仕事を取扱ひ、また必要に応じて翻譯者や通譯者を提供する係。
- AWOL** (Absent Without Leave) 無斷缺勤(兵など)。
- Blanket** (他動) 一言ですべてを抱含するようなことを言う。但し書きのない言明をする。
- CCD** (Civil Censorship Detachment) (進) 民間検閲班。民間の情報を検閲するグループ。
- CCS** (Civil Communication) (進) 民間通信局、民間通信組織を監督する。検閲するとうような意味でなく運営を監督する。
- CIC** (Counter Intelligence Corps) (軍) 對謀叛部隊、簡単に言へば逆スパイ。相手のスパイ網その他の機密運動を破ることを仕事とする隊。
- CI&E** (Civil Information and Education section) (進) 民間情報教育(局)、民間情報の統制と教育の監督をする局、内部が情報部と教育部に分れて居り、前者は郵便やニュース通信の検閲ではなく、書物や雑誌などの出版、放送番組などを統制し、後者は教育に關することを一切監督する。
- CIS** (Civil Intelligence Section) (進) 民間情報部、民間の反進駐軍又は反民主主義の祕密運動などに對處する仕事を司る局。
- CPD** (Civil Property Custodian) (進) 民間財産保管者。
- CPM** (Civilian Personnel Section) (進) 民間人事部。進駐軍内の非軍人人員に關する人事部。
- EM** (Enlisted Men) (軍) 下士官兵(Commissioned officer 將校でない者)。
- ECS** (Economic and Scientific Section) (進) 經濟科學局、簡単に言えば商工業を統制監督する局。
- FBI** (Federal Bureau of Investigation) アメリカ聯邦調査局。アメリカ最高の(地方的でなく國家的)犯罪調査局。
- FCIC** (Federal Communication Commission) 聯邦通信統制局。戦時中大いに活躍した。
- FEAF** (Far Eastern Air Force) (進) 極東空軍。
- FEU 1** (Far Eastern Command) (進) 極東軍司令部。2. (Far Eastern Commission) 連合國極東委員會。
- GHQ** (General Headquarters) (進) 總司令部。
- GI** (Government Issue) (名) 所謂 non-com, (non-commissioned officer) 下士及び兵は衣服その他全部 Government Issue (政府支給) である。このことから一般に「兵隊さん」と言われるべき者を總括して GI とする。(EM 参照)
- GS** (Government Section) (進) 政治局。政治關係を監督する局。
- Hot (形) Slang** (名) スワイン・ミーティング

1・政治用語の解説……………	法政大學教授 中村 哲・監修……………(五)
2・法律用語の解説……………	自由國民編集局 永田正己・執筆……………(八)
	東京大學講師 戒能通孝・監修……………(六)
	東大法學部資料室 鈴木重武・執筆……………(八)
3・經濟用語の解説……………	東京商科大學教授 中山伊知郎・監修……………(五)
	參議院議員 木村禧八郎・監修……………(五)
	(A) 一般經濟用語
	九州大學教授 向坂逸郎・監修……………(四)
	(B) 國際經濟用語
	立教大學講師 水田 博・執筆……………(四)
	G・H・Q經濟科學局 木原行雄・執筆……………(四)
	(C) 經濟思想用語
	ダイヤモンド編集局 矢部克治・執筆……………(四)
4・勞働用語の解説……………	東京大學教授 大河内一男・監修……………(六)
	政治經濟研究所 大友福夫・執筆……………(三)
5・思想用語の解説……………	東京女子醫大教授 高桑純夫・監修……………(二四)
	自由國民編集局 山口一郎・執筆……………(二五)
6・文藝用語の解説……………	東京大學助教授 中島健藏・監修……………(二八)
	作家 牧屋善三・執筆……………(二九)

自由國民・特別號

- 7・社會用語の解説……………朝日新聞社會部長 進藤次郎・監修：(二三)
- 朝日新聞社會部 渡邊眞四郎・執筆：(二三)
- 自由國民編集局 松本善之助・執筆：(二三)
- 民主々義科學者協會 岡 邦雄・監修：(二四)
- 東京理工専門校教授 久世寬信・執筆：(二四)
- 理化學研究所 井上兼雄・監修：(二四)
- 醫藥資源研究所 山尾泰正・執筆：(二五)
- 津村秀夫・監修：(二五)
- 10・映畫演劇用語の解説……………評 論 家 舟橋和郎・執筆：(二五)
- 日本大學講師 服部良一・監修：(二六)
- 11・音樂用語の解説……………作 曲 家 塚谷晃弘・執筆：(二六)
- 音樂評論家 小野三千磨・監修：(二七)
- 12・スポーツ用語の解説……………毎日新聞運動部長 山崎英夫・執筆：(二七)
- 成蹊高校・日齒大教授 鈴木文史朗・監修：(二八)
- 13・進駐軍關係の略語……………ライターズダイジェスト 三井高進・執筆：(二八)
- 日本版編集長 日本版編集集部
- 14・索引……………(二八)

政治思想

民主主義

民主主義とは自然法、個人主義、自由主義の三つの思想的要素から成立ち、具體的には第一に國家は本來獨立自由なる多數の個人が共同の幸福又は利益を得んがために集つて作つた團體であるから、國家は各個人のため存在するものである。第二に従つて國家の最高の權力即ち主權は常に國民自身に存せねばならぬ。第三に人間は等しく自由獨立なるべきものであるから元來何人か特定の個人に服従すべき性質のもではない。従つて我々が國家の意志に服するのは、國家の意志は多數個人即我々によつて作られるものであるからである。以上の三つの思想的要素から成立つ民主主義の精神はリンカーンの有名なる「人民の人民に依る人民の爲の政

治」という言葉によつてよく代表されている。英米に於ては民主主義というのには政治的には議會主義、經濟的には資本主義の形をとることをいつているが、ソ聯のいう民主主義は階級なき社會の實現をいう。デモクラシーの同義語。

自由主義

個人の自由を尊重し、これに對する國家の干渉をできるだけ制限して個人を自由に解放することが社會發展の要因であるとする思想。自由主義思想は中世社會におけるカトリック舊教、すなわち、人間を律する權威は神であり、神の代表者たる教會にあるという教に對する反撥として出發し、中世的社會組織即ち封建領主、貴族、僧侶等に對する絶對的服従、及びそれらの經濟的搾取に對する解放の要求として政治的、經濟的自由主義が體系づけられるに至つた。現在に於ける自由主義は(一)經濟上の自由

主義は産業貿易等に對する國家の保護干渉の排除(二)政治上の自由主義は言論、出版、集會、結社の自由を確保して人民の政治意志の發現をさまたげる一切の障害の排除(三)思想上の自由主義は一切の思想に對して制限を設けないこと等に具體的に現れている。

資本主義

資本主義はその特質として、一、欲望充足のための商品生産ではなくして、利潤獲得のための商品生産が一般的である。二、社會内に於て生産手段を獨占せる資本家階級と、その勞働力以外には何もかも所有しない勞働者階級があり、資本家は勞働力を賃金の形で買うことにより利潤獲得を行ふ。三、生産の無計畫、無政府性。それは私有財産制と分業の下に、生産は利潤獲得のために自由に行われる結果として生産が極めて無計畫とならざるを得ないとする。以上商品生産、

勞働力の商品化、生産の無政府性がその大きな特色である。かくの如き資本主義は現在世界の大きな部分を支配している社會制度であるが、この社會制度も他の古き社會制度と同様社會の發展の一定段階であつて、發生發展崩壞の過程をたどるべき運命にあると考えられている。すなわち、資本主義は封建社會の中から生れ、次のより高い社會形態たる社會主義にとつて代わられるべきものであるといわれている。

自然法思想

自然法思想は古く古代ギリシャに於てまず發達し、古代ローマに傳へられ更に中世ヨーロッパを経て、近代に於ける自然法思想の諸傾向を生みだした。それによれば人は生れたがらにして特定の固有の權利、即自然權をもつてゐるものである。自己防衛の權利、自由の權利、平等の權利、所有權利はその

國民經濟

計畫經濟

國家の統一的な計畫に従つて運営される高度の經濟體制をいう。資本主義の制度は本來資本家の自由競争をモットーとして興り、生産や流通はただ商品價格の變動で調節されるのが原則であつて無政府的生産と呼ばれている。しかし資本主義の弊害が著しくなり經濟恐慌が頻發するに及んで多くの資本主義國は何らかの統制經濟を必要とするに至つた。アメリカのニュー・ディール政策などはその代表的なものであり、また現在世界の諸國も戦後の經濟再建のために經濟の計畫化を標榜している。日本でも今年の五月經濟復興五ヶ年計畫を發表した。しかし一層徹底した計畫經濟は生産手段を資本家の手から社會の共有に移す社會主義の下で始めて可

能であるとされておられ、ソヴェト連邦は第一次から第四次までの五ヶ年計畫を遂行し驚異的な生産増大の成績をあげている。

修正資本主義

いづれの國においても資本主義の矛盾が激化して労働階級の闘争がはげしくなると、在來のままの資本主義ではいけないという反省が資本家の間から起る。即ち過去の純然たる自由搾取原則にもとづいた資本主義を幾分修正して勞資協調の面を出そうというのである。戦後のわが國においても、労働階級の自覺と昂揚が大いに進んだため、資本家の間に過去のまゝでは、労働攻勢に對處していけないという意見が一時ひろまつた。かゝる意見のものが民主黨にかたまつて、労働攻勢を防ぐために、社會主義を看板として、社會黨と政權の上で提携して、純然たる自由資本主義を標榜

している自由黨と一應の對立を示している。しかし修正資本主義とは單なる標語であつて、別に内容はなから、最近の情勢の進展のため、あまりばつとしなくなつたようである。

基礎産業

一國産業の基礎をなす産業、例えば石炭、鐵鋼、電力等の諸工業のよう一般産業が直接それに依存するものを基礎産業、基本産業、鍵鑰工業などと呼んでゐる。消費財の生産部門は國民經濟上いかに重要であつても基礎産業とは呼ばれない。わが國の經濟再建にはさし當り石炭、鐵鋼、電力、運輸などが基礎産業とされておられ、これらについては傾斜生産の方式により資材、勞力、資金が優先的に配當されている。但し基礎物資というときは必ずしも基礎産業の生産物に限らず、廣く經濟生活に直接間接に重要なものを漠然と指し、

米麥などの主要食糧から石炭、鐵鋼、肥料、セメント、繭なども含めてゐる。

生活水準

一般に消費生活の高さ、程度を生活水準と呼ぶが、國民全體としての生活水準は一般生産力或いは經濟力の如何によつて決まるので、生産水準、經濟水準などの語もこれと殆ど同じ意味に使われることが多い。昭和十二年四月の極東委員會の決定によれば、日本國民は、一九三〇—三四年（昭和五—九年）の生産、及び生活水準を許され、一九五〇年頃、その水準に達するであろうという。昭和五—九年は第一次大戦後の經濟的混亂が落付いた一方、日本がまた軍擴インフレの政策に乗出していなかつた時期である點から標準的時期であるとされた。今日の日本の生活水準はどうかと云えば、昭和二十二年四月の商工省調査では戦前の三分の一と

社會問題

假釋放 假釋放は普通、假出獄と假出場の兩者を包含するものとして用いられるが假出獄と同意義に用いられる場合もある。

假出獄 懲役又は禁錮に處せられたものが、有期刑ではその三分の一、無期では十年を経過した後に於て、本人の改悔の情著しいとき行われる。假出場は拘留に處せられた者及び罰金又は料金を完納することのできないために留置されたものが、情状により出場させてもらうこと。

訴追 刑事訴訟法上、狭い意味では起訴すなわち公訴の提起と同一に解されているが、廣い意味では一般に刑事訴訟手續を意味する。

婦人警察官 昭和二十一年四月警視廳が六十一名採用したのがこの元祖。身分は書

記だが、三ヶ月の再教育をうけると地方事務官三級、警視廳巡查、婦人警察官となる。年齢は二十歳から、二十五歳まで、身長は一五〇センチ以上、高女卒が條件。

兒童福祉司 兒童福祉法第十一條で規定され、各都道府縣におかれ、兒童及び妊産婦の保護、保健その他福祉に關する事項について相談に應じ、必要な注意を與えるのがその任務で、經驗又は學識ある者の中から任用する。

この兒童福祉司の職務に協力するため、市町村(特別區)東京都の二十三區など(を含む)の區域におかれているのが兒童委員で、兒童委員は必ず民生委員になることになつてゐる。

民生委員 一九四六年秋に方面委員の名稱が改まつた。全縣で約十四萬人。婦人が約二萬。

里親制度 昭和二十三年

一月一日に施行された兒童福祉法によつて生れた。親のない子や親の手に元においては子供の心身の發育に害となる場合、他人ではあるが、子供の養育者として適當と認められる家へ預ける制度。里親として子供をもらう場合は、兒童相談所を通じて地方長官に届出をすると、兒童福祉委員または兒童福祉司が家庭訪問を行つて環境、調査を行つた上、間違ないことを確かめた後里親登録簿に記載する。預つた後も福祉司がたえず養育方法を指導監督して子供の行末を見守る。里親に對しては政府から養育補助費として一日一人十四圓五十銭が支給されてゐる。

ブラカド フランス語の *Picard* (被せる、張る) が原語だという人もあるが、バリー・コンミニューン(一八七一年)に登場したのが歴史的には一ばん古いといわれてい

る。労働組合のデモの際使うスローガンを書きこんだ携帶用看板である。昭和二十一年の食糧メーデーのとき日本精機労組員の松島松太郎氏が「朕はたらふく食つてゐる、なんじ臣民飢えて死ぬ」のブラカドを宮城にかつきこみ、不敬罪として一時「ブラカド事件」の名で紛争を起したが、名譽毀損罪だけで(不敬罪は免訴)懲役八ヶ月の判決をうけたが、大赦に浴し釋放されたことは有名。

平和運動

ラフ (LARA) アジア救援公認團體 (Licensed Agencies for Relief in Asia) の頭文字をとつた略稱。米國內にある米國フレンド奉仕委員會、教會世界奉仕團、全國カソリック福祉團、米國救世軍、女子キリスト青年會等の團體で組織されており、アジアの

用されたもの。

カストリ 米を原材としドブコクを蒸溜したこの焼酎は戦後日本の縮刷酒。三合(三號)でつぶれるのシャルからエロ・グロ雑誌をカストリ雑誌と呼ぶのだという説すらある。安價に酔えるのがとりえ。カストリ・サラリーマンの言葉もある。

パンパン 終戦後街頭に現れた私娼をパンパンと云っている。語源には定説がない。終戦後の流行語だが、海軍復員者はみんな戦争中から使っていた。語源の一、軍港に碇船し上陸許可が出て早速慰安街に駆けつけるが、もうあたりは寝しづまつている。「こら起きろ」と表戸をパンパンと叩いて女を起した。その戸を叩く音から出たというその二、佛印のある街で、食料不足から物乞いが氾濫していた。上陸した日本兵を見ると、若い女たちが手をさしの

べて「パン、パン」と哀願した。パンは彼女等にとつては麵麩であつた。ちようど終戦後の日本娘も、パンのためにこれと全く同じような哀願を米兵に示したのと同様である。轉じて米人や中國人にゴマをすつてボロ儲けする男をパンパンボーイなどという。

かつぎ屋 闇物資行商人のこと。主として主食、野菜類、魚類等をリニツクサツク石油鏝、風呂敷等、手輕るに仕入れて賣り廻る。パンパンと共に戦後日本の縮圖である。**かり込み** 警察の手で浮浪者やパンパンを街頭から一定の場所へ收容することを意味する隠語である。

地下道 地下道は上野だけにあるのではない。東京都内、幾ヶ所にもあるが上野の地下道が代表的なのである。住むに家がない人たちが止むを得ずそこを本據にし追われても追われても、ここへやつて

くる。陰慘と不潔さと異様な悪臭に満ちここから終戦後の悪の華が咲いた。上野は關西と東北とを結ぶ關門であり、日本の交通の中心點になつていたので、人の出入りがはげしい。そこが浮浪者たちのねらいで、ここだけが榮えた理由であらう。

集團見合 廿二年十一月二日、結婚媒介を目的とする某雜誌社の主催で多摩川の河原で開かれた集團見合を元祖として全国的に流行し出した。最近では市町村や公共團體などがその發展策として採用し出した傾向がある。參會者は全部胸に番號票をつけ、求妻、嫁度、白、求養子、求婿、養子行、婿行が紅と二大別してある。これと思う人がいると、その番號を雜誌社に照會して身元調査をした上、交渉に入るという段取りだが、直接交渉も多い。**邪教** 正しい宗教と邪し

まなる宗教の區別を定難することはむつかしいが、まづその宗教が企業であるかないかと云うことで邪正が判るし、寄附金を強要するか、信者の自由意志による献金かによつて、企業、非企業が區別される。どのような宗教でもあれ、自ら信をおいて説く以上、邪教と納得する筈はない。その教説を利用して企業化する人間がいるので問題が起るのである。

ハバハバ 進駐軍の兵士が輸入したといわれるこの言葉は、バブア土人の土語で、早く／＼の意味だが、いまはその語原が英語から來たものの如く考えられ、現在日本の一風俗を語るにはなくてはならぬ言葉といえる。

アロハシャツ ハワイ、マニラあたりの流行で、型は半袖長袖。ポケットは両ポケットと三ボケの二種、衿は大きくやわらかい絹ででき、ケバケ